

## 研究紀要「第59集」の発刊にあたって

2020年度は小学校において、21年度は中学校において新学習指導要領が全面実施になります。田川郡教育研究所では、その趣旨を十分に踏まえて、円滑な移行ができるように研究を進めてきました。

研究主題「「生きる力」を育む学習指導の研究～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して～」は、本年度は3年次になります。この主題は現代的課題であり、更に深めるべきものと考え、継続して研究を進めたいと思っています。

さて、小中学校では、大量退職、大量採用の時代を迎えています。現場での様々な声が聞こえてきています。その中で、人材育成が大きな課題となっています。本研究所としましても、若手育成事業として、筑豊教育事務所と連携の上若年層の教師を対象とした研修会を開催したり、研修員研修会や、郡教科等部会や人材育成事業の推進に努力していく所存です。

7か町村からなる本郡では、小規模校も多く、特に教科指導に関することは町村内だけでは刺激が少なく、先輩からの学びが難しい状況があります。このような中、田川郡としての連携が必要と考えます。

その中で、教科等部会では、郡内の全教師が連携し教科に別れて集まり、研究を積み上げ紀要にまとめることの意義は大きいと思います。

本年度も、このように郡内の先生方の英知が結集された研究紀要「第59集」が完成しています。是非内容をご覧ください、自分自身の実践に活かしていただければ幸いです。

今年度のふくおか教育論文では、郡内の先生が「優良賞」を受賞されました。また、昨年度は、同じく郡内の先生が「優秀賞」を受賞されています。お二人とも本研究所の研修員研修会を受講された先生方です。2年連続の快挙を大変嬉しく思っているところです。頑張っておられる先生方には、成果が必ず出ると思っています。

最後になりましたが、当研究所の事業の推進に対しまして、日頃よりご支援とご協力を賜りました田川郡町村会並びに田川郡地教委連絡協議会、福岡県教育庁筑豊教育事務所、田川郡小・中学校校長会並びに教頭会の皆様に衷心より感謝申し上げます。

また、本研究紀要発刊にあたり、ご執筆いただきました研究員並びに実践に取り組まれた先生方、そして、ご指導いただきました各部担当の校長先生、教頭先生方にお礼を申し上げますとともに、皆様の今後ますますのご活躍を祈念いたします。

令和2年3月

田川郡教育研究所 所長 長野 修